

令和元年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 - II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 - III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 - IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 - V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立網野高等学校 】

1 実践テーマ	【 III 】
2 実施対象者	<p>ボッチャ体験 全校生徒</p> <p>体操指導等 体操部全部員（1年生男7名女5名 2年生男4名女6名 3年生男1名女2名）</p>
3 展開の形式	<p>本校全生徒がボッチャを体験する。</p> <p>体操部が地域の保育所、小学校、福祉施設に出向き、地域の高齢者から園児の全世代を対象に体操教室・運動補助・演技披露を行う。</p>
4 目 標 (ねらい)	<p>(1) スポーツ交流を通して異世代者への理解を深め、共生社会の形成を目指す。</p> <p>(2) 高校卒業後、ほとんどの生徒が地元を離れて進学をする状況の中で、地域社会の現状を考える機会を掴むとともに、将来的に丹後地域の維持・発展に貢献できる人材を育成する。</p> <p>(3) 全国平均よりも高齢化が進み、長寿者が多い丹後地域に活力を与え、スポーツ文化の広がりに寄与する人材を育てる。</p>
5 取組内容	<p>(1) 本校正門前に看板の設置</p> <div data-bbox="600 1220 1174 1653" data-label="Image"> </div> <p>(2) ボッチャ体験</p> <p>ア 生徒会とTAC（ボランティア生徒有志グループ）でボッチャを体験。</p> <p>イ 文化祭にてボッチャ体験コーナーを設置。</p> <p>ウ 第1学年部が香港の高校生とボッチャで交流。</p> <p>エ 第2学年は授業で体験、第3学年はクラスで体験後に学年でボッチャ大会を実施。</p> <p>オ 丹後日帰りツアーでボッチャ体験を企画（企画経営科）</p> <p>カ 美術書道作品展でボッチャ体験コーナーを企画。地域へ発信する予定。</p>

クラスで



第3学年ボッチャ大会
競技説明



チーム対抗戦



(3) 体操部の取組

体操体験、体操教室及び演技会

(7月25日(木)、10月6日(日) 10月27日(日)実施)

ア 生徒が高齢者及び様々な世代の方々と関わりながら、リトミック運動の指導を行った。

大宮北保育所内、リトミック運動指導の様子



イ 網野南小学校 小学生、中学生、演技参観の保護者への指導
風景



	<p>ウ 弥栄小学校 生徒主体で指導を行うとともに、音楽に合わせて全体でリトミック運動にチャレンジし、世代間交流の場を設定した。</p>  <p>エ 体験教室</p>  
6主な成果	<p>ねらいである誰もが互いに人格と個性を尊重し、支えあって共生する社会の実現に主体的に取り組もうとする意識や態度、地域創生への意欲を養うことができた。</p>
7実践において工夫した点（事業の特色）	<p>昨年度までは体操部中心の取組であったが、今年度はボッチャを取り入れ、一般生徒が体験する場を設定した。また、様々な行事にボッチャ体験を組込むことで地域へ発信することを目指した。</p> <p>体操部の取組では、高校生を中心に運動指導を行えるよう、前年に取り組んだ体操の振り返りや指導手順、安全確認の事前学習時間を設けた。</p> <p>高齢者から保育園児までの幅広い世代が一堂に会し、体操でつながる場を設定し、交流と気づきが生まれるように心掛けた。さらに、コミュニケーションが相互に活力を生み出すことに着目し、高校生による運動指導だけではなく、日頃の部活動の成果を披露する演技発表を取り入れた。</p>
8主な課題等	<p>全世代が楽しく、また安全にできる運動として昨年まで取り組んできた体操を取り入れたが、運動量や強度にまだまだ工夫できる余地がある。</p> <p>高齢者福祉施設への出前講座も計画していたが、日程調整できず、実施することができなかった。また、会場を保育所以外に小学校でも実施したが、地域イベントと重なり、特に高齢者の参加者が少ない日があった。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>負担のない形での継続的な実施を目指したい。</p>